

「富山を知る・学ぶ」

現在、高志の国文学館の常設展示でご紹介中の富山県ゆかりの文学者や偉人について学習します。

第1回 9/16(土) 柏原兵三とドイツ文学

元富山大学人文学部教授 宮内 伸子 氏



第2回 10/14(土) 詩人と物質
瀧口修造と前衛美術

多摩美術大学アートアーカイヴセンター所長 大学院教授 光田 由里 氏



第3回 10/15(日) 岩倉政治～故郷への愛着と信仰、
そして、救済の実践～

元富山県立図書館長 立野 幸雄 氏



第4回 11/18(土) 「信念を貫いた政治家松村謙三」
～若き日の体験から～

南砺市社会教育指導員 土居 敬生 氏



時間 14:00～15:30

場所 高志の国文学館 研修室101

定員 72名(定員に達し次第、締切)

その他 3講座以上受講された方には、希望により
県民カレッジの単位(5単位)が認定されます。

申込方法

裏面の受講申込書に必要事項を記入し、
郵送またはFAXにて高志の国文学館まで
送付してください。(お電話でのお申込みも受け付けます。)

※受講票などは送付いたしません。
(定員に達し、受講いただけない場合のみご連絡します。)

お問い合わせ申込先

高志の国文学館

〒930-0095 富山市舟橋南町2-22

TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490

高志の国文学館では、
twitter、instagram、facebookで
最新情報を発信しています。
ぜひフォローしてください!



twitter



instagram



facebook



HP

心にとっぷり、 栄養補給!



館長 室井 滋

受講申込書

ふりがな 氏名				(県民カレッジ単位希望者のみ記載してください) 〒
連絡先 ☎	TEL:	-	-	
	FAX:	-	-	

※取得した個人情報は、本講座以外の目的で使用することはありません。

受講を希望する講座に○をつけてください(複数可)

実施日	対象先人 / 講演題 / 講演者 / 講座概要
<input type="radio"/> 9/16 (土)	<p>柏原兵三 柏原兵三とドイツ文学</p> <p>元富山大学人文学部教授 宮内 伸子 氏</p> <p>芥川賞作家柏原兵三(1933-1972)は入善町で疎開生活を送り、その時の体験を元に『長い道』を書いた。この作品はその後、藤子不二雄[Ⓐ]によって『少年時代』として漫画化され、さらに映画にもなった。井上陽水のヒット曲「少年時代」はこの映画の主題歌である。本講演では、ドイツ文学者でもあった柏原兵三に焦点を当て、ベルリンでの留学生活に取材した小説『ベルリン漂泊』を中心に、ドイツやドイツ文学との関わり合いについて紹介していきたい。</p>
<input type="radio"/> 10/14 (土)	<p>瀧口修造 詩人と物質 瀧口修造と前衛美術</p> <p>多摩美術大学アートアーカイヴセンター所長 大学院教授 光田 由里 氏</p> <p>詩人、瀧口修造の半世紀に渡る美術との関わりをアンドレ・ブルトンとの比較から考察する。</p>
<input type="radio"/> 10/15 (日)	<p>岩倉政治 岩倉政治～故郷への愛着と信仰、そして、救済の実践～</p> <p>元富山県立図書館長 立野 幸雄 氏</p> <p>大正から昭和にかけての疲弊した農村で、貧しさに喘ぎ、その苦しさを信仰で癒す農民の中で岩倉政治は育った。懸命に働いても貧困から抜け出せなく、神仏にすがっても救われない状況に疑問を抱き、その解決を求めて、大学で鈴木大拙から仏教研究の基礎、戸坂潤からマルクス主義唯物論を学び、人間の科学的な実践で農村の苦境を打開しようとする。しかし、思想犯としての二度の投獄と自宅監禁でその試みは潰えたものの、再び、その想いを文学で成し遂げようとする。真摯に生きようとする人間の姿と、現実を暴き出し、冷静に現実を直視して動じずに立ち向かう岩倉の実像を彼の作品を通して追ってみる。</p>
<input type="radio"/> 11/18 (土)	<p>松村謙三 「信念を貫いた政治家松村謙三」～若き日の体験から～</p> <p>南砺市社会教育指導員 土居 敬生 氏</p> <p>政治家として一貫して農業問題と日中国交回復に取り組み保守二党論を唱えた松村謙三は頑固なまでに公私混同を嫌いました。周囲からは「清廉潔白」「反骨精神」という言葉でその人柄を称されました。そのような松村の生い立ちについて、松村を生み育てた福光の風土や松村が少年時代から青年時代にかかわった人々や出来事などを松村自身の日記や手紙、手記などをもとに考えてみたいと思います。</p>

申込先

高志の国文学館

〒930-0095 富山市舟橋南町2-22

FAX076-431-5490